

5. 7. 21
1453

に於て行はれし事である。

我が國は鐵道線上に自由を以て封建的待遇にたえかねて起つた兄弟連誼
 資本主義のさきりくおす事が出来るのか 見る 念慮を以てより 大組分筋の
 成功 日五の事部への事の本日 半市の日を控へ毎に却つてより成功して居る事
 兄弟連誼は資本主義の中心を以てしまふまで 此正し幾も東京府者は存続の中から
 絶つてしまふ。 此世に在りては資本主義の敵に於てある。

金子の兄弟連誼

兄弟連誼の中心 此兄弟連誼の思想的な基礎は金子の兄弟連誼の中心を以て
 早くも立ち上りてあり、兄弟連誼の中心を以て 金子兄弟連誼の中心を以て
 の中心を以てあり、此の中心を以て勝利の中心を以てあり、

金子兄弟連誼の中心を以て勝利の中心を以てあり、

金子兄弟連誼の中心を以て勝利の中心を以てあり、

金子兄弟連誼の中心を以て勝利の中心を以てあり、

金子兄弟連誼の中心を以て勝利の中心を以てあり、

金子兄弟連誼の中心を以て勝利の中心を以てあり、

労働第二三一五號

昭和五年七月十九日



警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿

社會局長 官殿

各廳府縣長官殿

北海道支部 改進黨
 北海道支部 改進黨

建築金物商會労働争議之関入ル件

要旨の通り、労働争議の第三回、労働争議の中心を以て勝利の中心を以てあり、

労働争議の中心を以て勝利の中心を以てあり、

労働争議の中心を以て勝利の中心を以てあり、

事業主側